

防疫指導

(令和2年度)

目的

県内養魚生産者等に対して魚病被害軽減および水産物の安全・安心の確保のため、予防、診断、治療等の防疫指導および巡回指導を実施した。

実績

防疫指導のうち魚病検査は44件、保菌検査は51件であり、その魚種別及び月別の内訳は表1及び2のとおりであった。

表1 月別魚病検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
伝染性造血器壊死症	2		2	1								1	6
伝染性造血器壊死症+冷水病		1										1	2
伝染性造血器壊死症+レンサ球菌症						1							1
冷水病		1			1								2
カラムナリス病+白点病						1							1
テトラオックス症	1												1
白点病					1								1
真菌症												1	1
健全		1											1
不明	1												1
アユ													
異型細胞性鰓病				2		1							3
異型細胞性鰓病+細菌性鰓病	1												1
エドワジエラ・イクタルリ感染症					1								1
細菌性鰓病	1												1
細菌性出血性腹水症			1										1
冷水病		4		3	1								8
胃真菌症		1											1
外傷		1											1
不明	1			1	2								4
ニホンウナギ													
トリコジナ症	1												1
トラフグ													
ウーヅニウム症					1								1
コイ													
コイヘルペスウイルス病							1						
不明									1				1
ウグイ													
不明		1											1
メダカ													
不明					1								1
計	8	10	3	7	8	3	1	0	1	0	0	3	44

表2 月別保菌検査実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
サケ科魚類													
保菌無し	2												2
アユ													
保菌無し	11	6	5	6	2	3	6		6	2			47
アユボックスウイルス													0
細菌性鰓病原菌													0
冷水病原菌		1	1										2
計	13	7	6	6	2	3	6	0	6	2	0	0	51

*重複して保菌が確認された群については、それぞれの菌を保菌していると計数した。

(水産研究部)